

➤ 18日 水曜

ピリピ



4:1 ですから、私の愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ。このように主にあって堅く立ってください。愛する者たち。
4:2 ユウオディアに勧め、シンティケに勧めます。あなたがたは、主にあって同じ思いになってください。
4:3 そうです、真の協力者よ、あなたにもお願いします。彼女たちを助けてあげてください。この人たちは、いのちの書に名が記されているクレメンスやそのほかの私の同労者たちとともに、福音のために私と一緒に戦ったのです。
4:4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。
4:5 あなたがたの寛容な心が、すべての人に知られるようにしなさい。主は近いのです。
4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。
4:7 そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ここでパウロは一致を勧めます。どんなに個人個人の信仰が立派でも、兄弟姉妹の間に一致がなければ、主の前には不十分です。すなわちそれぞれの行動や目的がバラバラで、互いの協力もなく、分かち合いもなければ問題です。主のみわざは進んで行かないでしょう。主のお役に立つ共同体ではありませんし、その一員としての個人も何かが問題なのです。パウロが言うのには、本当の一致とは、「同労者たちとともに、福音のために...一緒に戦った」ということです。身の周りに、主のために何かをしようとする人、またはしている人はいないでしょうか。

彼らと一緒に戦う（苦勞してチャレンジする）ことから、神の共同体の真の一致が始まります。そして主のみわざが前進します。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

